



音楽の力で街が元気に!

「Jazz Picnic in 猪名川」では、猪名川の河原、芝生の上で聴衆は思い思いのスタイルでジャズを楽しむ

池田市



左から村田聡さん(いけだ市民文化振興財団)、足立衛さん、加納雅子さん(同財団)、畑正広さん(同財団)



川のほとりでくつろぎのなか聴き入る
軽快なジャズの音色

26年前にスタートした「Jazz Picnic in 猪名川」は、各地で行われる町おこし野外ライブの草分け的存在だ。当初、池田市制施行50周年の記念事業の一つとして一度切りとされたが、2年後青年会議所のもう一度の声で復活。これまでジョージ・ベンソンや日野皓正、カシオペア、大塚善章といった世界的に著名なミュージシャンが出演してきた。現在も、いけだ市民文化

Jazz Picnic in 猪名川 毎年8月開催

詳細は、いけだ市民文化振興財団HP (<http://www.azaleanet.or.jp/>) に。「Jazz Picnic in 猪名川」で検索

12月12日(土) 足立衛&アセリアジャズオーケストラコンサート
「中村八大メロディー&ジャズスタンダード」

振興財団とNPO法人関西ジャズ協会が共催し、第一線で活躍するプロのパフォーマンスを披露する。「夏の夕暮れ、猪名川のほとりで軽やかなジャズの音色を楽しむ。この開放的な空気感はお客さんも演奏する我々も実に気持ちいいです」と話すのはサククス&クラリネット奏者であり、同協会理事でもある足立衛さん。残念ながら、今年は荒天のため中止だったが、例年池田市内外から約1200人以上の人々が訪れ、夏の恒例行事として音楽ファンの間ではすっかり定着している。

最近では「Jazz Picnic in 猪名川」に触発されてか、このイベントにも出演している地元池田の社会人のバンドが池田市内で自主的にジャズライブを開催。新たな動きが生まれつつある。同財団常務理事の楠田治朗さんは「今後、ジャズという誰にも愛される音楽を通して、文化を育む魅力ある町・池田をもっとアピールしていきたいです」と熱く語った。